

いばらき教員応援団

For the future of Ibaraki children No. 6



平成27年度の事業内容をご報告いたします

平成27年度「いばらき教員応援団」研修会

講師 田坂 広志 氏

演題 「なぜ、我々は、教育に命を懸けるのか」



合同研修 田坂 広志 氏

平成27年度事業概要

目的

日本を代表する一流講師による講演会を開催し、講話を通して、総合的な教師力の向上に資することを目的とする。

対象者 (全校種)

- ・ 新任校長
- ・ 新任教頭
- ・ 新任教務主任

研修 時期

- 合同研修会
6月24日(水)
ホテルレイクビュー水戸 飛天の間
- グループ別研修会
8月6日(木)、11日(火)、18日(火)
ホテルレイクビュー水戸 飛天の間

ごあいさつ



「日本の世の中全体が、あらゆる分野で、非常に悪くなってきている。このままでは日本の将来は大変なことになる。

それには、学校の先生方皆様に高い志のもと高い理想のもと大いに奮い立っていただき、次の時代を担う青少年を子供達を正しく育成させていただく他に道はない」と

の思いで「いばらき教員応援団」を発足させ、多くの皆様のご支援ご協力に依り、5年目の事業を無事終了することができました。

研修に参加されました先生方が、多数その講演内容に感動され、その気付きからこれからの教育活動に生かされるものと思っております。事業を運営していくなかで、責任者として確かな手応えを感じ、今後も、県民運動の一環として茨城の教員を応援し、そのことによって茨城の教育力の向上を目指してまいります。

ここに広く、県民の皆様の、この事業へのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

いばらき教員応援団
<http://www.ibaraki-tcp.jp>

茨城県教育委員会
<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/index.html>

理事長
高野 英一

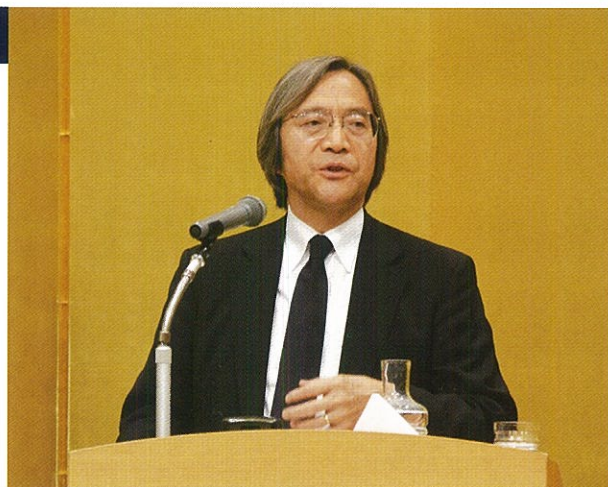
For the future of Ibaraki children

合同研修

6月24日(水)●新任校長・新任教頭・新任教務主任[参加者数 557名]

演題

なぜ、我々は、教育に命を懸けるのか



●講師

田坂 広志氏 【昭和26年 愛媛県生まれ】

シンクタンク・ソフィアバンク代表

2000名の経営者やリーダーが集う場「田坂塾」を開塾。研究者、教育者、経営活動だけでなく、作家、思想家、詩人として、海外での出版も含め様々な分野で80冊以上の著書を上梓された。国内外の経営者や政府、国際的リーダーから政策と戦略の提言を求められ、世界を舞台に活躍している。

受講者の感想より

田坂先生の熱い思いが心に染みました。「教職は聖職である」ことを改めて思い知らされた時間でした。「教育現場ほど奇跡が起こる場所はない」という田坂先生の言葉を胸に、学校経営にあたっていきたいと思います。
(守谷市内中学 校長)

「教育に命を懸ける」ということは、生徒の命が懸かっている、人生が懸かっているということに他ならないという言葉が印象に残りました。日頃、何気なく接してしまいがちな生徒との学校生活ではありますが、田坂先生の言葉を重く受け止めなければならぬと感じました。
(県立高校 教頭)

自分が人の一生に関わる重要な仕事に就いていることに改めて気付かされた。そして、人の一生に関わることで自分の仕事に誇りを持った。
(牛久市内小学校 教頭)

今年度から教務主任となり、今までとは異なる立場に戸惑い、児童と触れ合う機会の少なさに寂しさを感じていました。しかし、それが私の「使命」であり、「働く」ということなのだを再認識することができました。
(神栖市内小学校 教務主任)

グループ別研修

8月6日(木)●新任校長[参加者数 171名]

演題

人を導く者の責任



●講師

上甲 晃氏 【昭和16年 大阪市生まれ】

松下政経塾で初代塾頭を務めた経歴をもつ。「志の高い日本」は「志の高い日本人」によってこそ実現するとの思いに立ち、志ネットワーク活動を展開している。また、活動の一環として、「青年塾」を創設し、青年の啓発にあたっている。

受講者の感想より

「教育者の本気度が問われている。その本気度が相手に伝われば、生徒は変わる。」というお話に感銘を受けた。今回の講演会の要旨をまとめ、教職員に配布し、「校長が変われば、教師が変わる。教師が変われば、生徒が変わる」と意識をもって、学校経営に当たる覚悟です。
(県立高校 校長)

教員として残り時間も少なくなってきた現在、もう一度教育者としてのチャレンジをしてみたいと思った。日本一笑顔や会話の溢れる職員室、日本一生徒とふれあう校長でありたい。
(ひたちなか市内中学校 校長)

講演を聴き、心の中で教職員への誓約書を書いた。
①校長の職の力を借りなければ経営ができなければ止める。
②共に教育活動を勧めるのが辛くなったら止める。
③教職員と協働することになくなくなったら止める。
校長として、学校経営に鋭意努力する決意です。
(阿見町内小学校 校長)

イギリスへの現地集合等、「不便、不自由、不親切」で、自主性を育てることに納得した。現在、学校は全てにおいて、準備や段取りを付け教育を行っているが、逆に考える力を成長させていない面もあるのではないかと。あえて子どもに苦労をさせ、考える力を身に付けさせることも必要であると感じた。
(高萩市内小学校 校長)

グループ別研修 | 8月11日(火)●新任教頭[参加者数 240名]

演題

徳育のすすめ



●講師

池田 繁美氏【昭和23年 福岡市生まれ】

「素直な心は、よりよい生き方を生み出す」という信念のもと、人格向上のための「素心学」を学ぶ場として、〈素心学塾〉〈耕心塾〉を主宰。また、「経営者のための人間学」「中小企業のための実践財務」「事業計画の立て方」等のテーマで商工会議所、青年会議所、など全国各地で講演活動を行っている。

受講者の感想より

「師表徳化(自ら手本となり、周りを感化する)」という言葉は、まさに教師が目指すべきところであると強く感じます。あらためて自分を振り返り、日々の仕事に活かしていきたいと思います。学校経営に携わる者として、先生方や児童生徒に伝えていきたいと思いました。(土浦市内小学校 教頭)

「素心学の心得」をデスクマットに挟み、毎日朝に夕に眺めて自分を律していこうと心に決めた。先生のおっしゃるように、誰も教えてはくれない。管理職となった私は、初心を忘れず、謙虚な心を心がけ「師表徳化」の教員となれるように努めたい。(神栖市内小学校 教頭)

研修会後、「日常の心がけ」を手帳に書き写し、自分の行動を振り返っております。21項目の全てができる日はまだまだ少なく「師表徳化」に至らない状況ですが、まずは、いいことも悪いことも、素直な心で「ありがとうございます」と言えるよう、毎日修養していきたいと思ひます。(常総市内中学校 教頭)

池田先生のご講演は、穏やかにそして静かに、まるで清流のせせらぎのように心地よく感じられました。それは誰に対しても決しておこることなく、同じ姿勢で接しておられる先生の言葉だからだと思いました。日常の心がけを日々実践し、信頼される人間を目指していきたいと思ひます。(特別支援学校 教頭)

グループ別研修 | 8月18日(火)●新任校長[参加者数 244名]

演題

リーダーシップの本質 「クラス運営のために 知っておきたい5つの法則」



●講師

木下 晴弘氏【昭和40年 大阪府生まれ】

著書『全国高校入試問題正解と分析 解答』(学研)、『できる子にする「賢母の力」』(PHP研究所)、『涙の数だけ大きくなれる』(フォレスト出版)他多数。「感動が人を動かす」をモットーに、学力だけではなく人間力も伸ばす指導は、生徒、保護者だけでなく、企業関係者からも絶大な支持を受けている。

受講者の感想より

肯定的ノームをいかに文化に変えていくかという話の中では、「自分が源泉」という言葉が心に残りました。思うようにならない現状を子どもや他人のせいにするのではなく現状から逃げたままにいたことは多々あったように思ひます。「自分が源泉」実行するのは簡単ではないと思ひますが、そのような気持ちで取り組んでいきたいと思ひます。(結城市内小学校 教務主任)

「何のために学校があるのか」「何のために働くのか」、職員みんなで共有する必要があります。でも、「どうすれば」とところで立ち止まっていたが、「自分には変える力がある」「自分で変えよう」という言葉に勇気をいただいた気がします。(水戸市内小学校 教務主任)

自分がやりやすい環境ばかりを考えていたことを反省し、周囲の人がやりやすい環境をつくるために、学校のリーダーとして先頭に立ってやっていかなければならないということを優先にし、今後の学校運営に生かしていきたいと思ひます。(桜川市内中学校 教務主任)

「愛とは存在承認のこと」という話では、はっと気付かされる内容に納得しながら聞き入りました。また、「ノームに影響を与える力は実行すること」の話にも共感し、組織には、とても大切なことと実感しました。自分の行動や発言、関わり方について再認識する機会になると共に、少しでもリーダーシップをとるに相応しい人物になるように努力したいと思ひます。(高等学校 教務主任)

いばらき教員応援団へのメッセージ

「教員として」を超えて「人間として」の視点で自らの教育観を顧みる機会を与えてくださったことに感謝いたします。「いばらき教員応援団」という言葉にも、細やかな教育手法ではなく、教える側の人間性を高めることの大切さを自ら気付くように応援するという高い志を感じました。このような温かい応援を受けて教育に専念できる私たちは本当に幸せです。

(高等学校 校長)

企画していただきました理事長の高野英一様をはじめ、いばらき教員応援団の方々に、児童生徒の志力回復のために全力で取り組むことをお誓い申し上げます。

(筑西市内小学校 校長)

事業計画

○ 合同研修会

平成28年6月27日(月)

ホテルレイクビュー水戸 飛天の間

講師 上甲 晃 氏

○ グループ別研修会

平成28年8月 2 日(火) 新任校長

平成28年8月 9 日(火) 新任教頭・副校長

平成28年8月23日(火) 新任教務主任

ホテルレイクビュー水戸 2階 飛天の間

いばらき教員応援団〈役員一覧〉

【役員】

理事長

高野 英一 タカノフーズ株式会社

専務理事

打越 芳男 株式会社打越製材工場

常任理事

小松 満 社団法人茨城県医師会

常任理事

沼尻 博 沼尻産業株式会社

常任理事

和田 祐之介 茨城県商工会議所連合会

理事兼事務局長

石原 道明 元城里町教育委員会教育長

副理事長

幡谷 浩史 茨城トヨタ自動車株式会社

常任理事

加藤 啓進 茨城日産自動車株式会社

常任理事

関 正夫 関彰商事株式会社

常任理事

幡谷 祐一 茨城県信用組合

監事

和田 芳武 ネットトヨタ茨城株式会社

【幹事】

鬼澤 慎人 株式会社ヤマオコーポレーション

鯨岡 則雄 株式会社大宮自動車教習所

鈴木 勝彦 株式会社鈴木良工務店

幡谷 史朗 茨城トヨタ自動車株式会社

和田 幾久郎 株式会社祐月本店

加藤 敏彦 茨城日産自動車株式会社

坂場 英利 株式会社白英社

関 正樹 関彰商事株式会社

藤田 卓也 株式会社フジタビジネスマシズ

今後も広く県民の皆様のご参加をお願いいたします

〈趣旨に賛同される方へ〉

趣旨に賛同される方は、本リーフレットに添付されております「いばらき教員応援団入会申込書」に必要事項を記入の上、下記の問い合わせ先に郵送でお申し込みください。ホームページからも入会申込書がダウンロードできます。

いばらき教員応援団 <http://www.ibaraki-tcp.jp>

【問い合わせ先】

茨城県教育庁高校教育課内 いばらき教員応援団事務担当

〒310-8588 茨城県水戸市笠原町978-6 TEL.029-301-5260